

令和7年度福井県献血推進計画

令和7年3月26日

福井県

目 次

1	計画の性格	1
2	令和7年度に献血により確保すべき血液の目標量	1
3	目標量を確保するための取り組み	2
	（1） 献血に関する普及啓発活動の実施	
	（2） 献血者の受け入れ体制の整備	
	（3） 福井県献血功労者に対する表彰	
	（4） 献血推進協議会等、血液関係会議の開催	
	（5） 血液製剤使用適正化の推進	
4	血液製剤の在庫不足時の的確な対応	4
5	災害時等における献血血液の確保等	4

参考資料

令和 7 年度福井県献血推進計画

1 計画の性格

本計画は、安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律(昭和31年法律第160号。以下「法」という。)第10条第5項の規定に基づき定める令和6年度の福井県における献血の推進に関する計画であり、法第9条に規定する血液製剤の安全性の向上及び安定供給の確保を図るための基本的な方針(平成31年厚生労働省告示第49号)および法第10条第1項に規定する国の令和7年度の献血の推進に関する計画に基づくものである。

2 令和 7 年度に献血により確保すべき血液の目標量

福井県における採血および供給計画は、日本赤十字社東海北陸ブロック血液センターにおいて東海北陸ブロック全体の「役割分担」として調整がなされるものである。令和7年度において、福井県に割り当てられた成分献血の種類は血しょう成分献血のみであり、血小板成分献血は実施しない。なお、福井県において使用される血小板製剤については、日本赤十字社東海北陸ブロック血液センター全体で確保され、福井県赤十字血液センターから各医療機関へ供給される。

令和7年度に必要と見込まれる輸血用血液製剤の量は、赤血球製剤 41,000 本※、血しょう製剤 8,100 本※および血小板製剤 51,500 本※である。また、本県において確保されるべき原料血しょうの目標量は 8,850 リットルである。
(算定基礎:資料 1-1)

※ 単位(本):200mL 献血由来を1単位とした換算本数

東海北陸ブロック全体の調整の結果、令和7年度には全血採血により 7,602 リットルおよび血しょう成分採血により 4,315 リットルの計 11,918 リットルの血液を献血により確保する。

令和7年度血液確保目標量

採 血 区 分		献 血 者	血 液 量	
200mL採血		442 人	88 L	7,602 L
400mL採血		18,785 人	7,514 L	
成分	血しょう	7,632 人	4,315 L	
合 計		26,859 人	11,918 L	

3 目標量を確保するための取り組み

(1) 献血に関する普及啓発活動の実施

① 全国キャンペーンの実施

県は、市町および採血事業者等の関係者と連携し、献血により得られた血液を原料とした血液製剤の国内自給の推進と、広く県民各層に献血に関する理解と協力を求めるため、全国キャンペーンの実施にあわせて、街頭キャンペーンや各種広報手段を活用した広報啓発活動を実施する。

- ・「愛の血液助け合い運動」(7月)
- ・「はたちの献血」キャンペーン (1月～2月)

② 若年層の献血への理解を深めるための普及啓発

県は、国、市町、採血事業者および学生ボランティア組織等と協力して、大学等における献血の推進を促すとともに、中高校生をはじめ若年層に対し「血液・献血出前講座」や「卒業献血」等を行い、献血への理解と正しい知識の普及啓発および献血未経験者に対する不安感や恐怖感などの軽減に取り

組む。採血事業者は、「血液・献血出前講座」や「卒業献血」等をきっかけとし、献血未経験者等に献血 web 会員サービス「ラブラッド」への入会を働きかける。

県および採血事業者は、学生ボランティア組織等関係者の理解と協力を得て、ソーシャルネットワークサービス(SNS)を活用し、献血や血液製剤に関する理解と協力を呼びかける。

(2) 献血者の受け入れ体制の整備

① 献血者の利便性の向上

県は、採血事業者と十分協議して、公共施設の提供等、献血者の受入に協力する。

② 複数回献血の推進

県は、複数回成分献血者を確保するため、採血事業者と協力して成分献血推進事業を実施する。

③ 献血 web 会員サービス「ラブラッド」への入会の促進

採血事業者は、県と協力して、血液の在庫が不足した際に複数回献血者の協力が速やかに得られるよう、献血者に対し献血 web 会員サービス「ラブラッド」入会を促進し、登録された献血者に対し、献血の依頼、献血に関する情報の提供等を実施する。

(3) 福井県献血功労者に対する表彰

県は、模範となる実績を示した団体および個人に対し知事感謝状の贈呈を行い、献血運動の推進に積極的に協力する。

(４) 献血推進協議会等、血液関係会議の開催

県は、年1回以上、福井県献血推進協議会を開催し、採血事業者および血液事業に関わる民間組織等と連携して、福井県献血推進計画の策定をはじめ、血液事業の適正な運営を確保する。

県は、市町の血液事業担当者および採血事業者と協議する会議を開催し、献血推進のための施策の進ちょく状況について確認を行うとともに、必要に応じ、献血推進のための施策の見直しを行う。

(５) 血液製剤使用適正化の推進

県は、国が定めた血液製剤使用指針等の周知を図り、県内医療機関における血液製剤の使用適正化を推進する。

4 血液製剤の在庫不足時の的確な対応

県は、赤血球製剤等の在庫が不足する場合または不足が予測される場合には、国および採血事業者と連携して、供給に支障を及ぼす危険性を勘案し、早急に所要の措置を講ずる。

5 災害時等における献血血液の確保等

県は、災害時において、市町や採血事業者等関係者と連携し、需要に見合った献血の確保を行う。

採血事業者は、県等関係者と連携し、献血により得られた血液が円滑に現場に供給されるよう努める。

採血事業は、医療体制の維持に不可欠なものであることを踏まえ、採血事業者は、新興・再興感染症のまん延下の状況であっても、医療需要に応じた血液製剤の安定供給を図るため、安心・安全な献血環境の保持と献血者への感染防止を図るとともに、様々な広報手段を用いて、献血への協力を呼びかける。また、県は、採血事業者の取組を支援する。

< 血液確保目標量 算定基礎 >

① 県内医療機関における血液製剤の需要実績(単位換算)

		(計画)	4年度	(計画)	5年度	(計画)	6年度(見込み)	7年度(予測)	
全血製剤		0	0	0	0	0	0		0
成分製剤	赤血球製剤※1	40,200	40,285	40,000	41,132	40,000	42,878		41,000
	血しょう製剤※1	7,300	8,453	7,300	8,820	7,700	7,595		8,100
	血小板製剤	49,000	51,442	53,000	51,010	50,000	54,975		51,500
合 計		96,500	100,180	100,300	100,962	97,700	105,448		100,600

※1 200mL献血由来を 1単位として換算

② 原料血しょう確保目標量

令和7年度 8,850 L

< 令和7年度血液確保目標量 >

国内血液製剤供給量予測			
↓			
東海・北陸ブロック採血目標			
↓			
献血可能人口比率で調整			
↓			
採血区分		福井県 採血目標	
		献血者	血液量※2
200mL献血		442 人	88 L
400mL献血		18,785 人	7,514 L
成分	血しょう	7,632 人	4,315 L
	血小板		
計		26,859 人	11,918 L

※2 献血者数から血液量への換算方法 200mL由来:0.2L/人 400mL由来:0.4L/人 血しょう由来: 0.5654L/人

< 献血目標の推移 > (献血者数および採血量)

採血区分		3年度 目標		4年度 目標		5年度 目標		6年度 目標		7年度 目標	
		献血者 (人)	血液量 (L)	献血者 (人)	血液量 (L)	献血者 (人)	血液量 (L)	献血者 (人)	血液量 (L)	献血者 (人)	血液量 (L)
200mL献血		580	116	630	126	580	116	480	96	442	88
400mL献血		19,520	7,808	19,770	7,908	19,170	7,668	18,840	7,536	18,785	7,514
成分	血しょう	8,100	4,406	8,320	4,367	7,460	4,132	7,770	4,365	7,632	4,315
	血小板	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		28,200	12,330	28,720	12,401	27,210	11,916	27,090	11,997	26,859	11,918

※血液量は端数処理しているため、
内訳計と合計は必ずしも一致しません。

< 献血実績 > (献血者数および採血量)

採血区分		3年度 実績		4年度 実績		5年度 実績		6年度 実績(見込み)	
		献血者 (人)	血液量 (L)	献血者 (人)	血液量 (L)	献血者 (人)	血液量 (L)	献血者 (人)	血液量 (L)
200mL献血		768	154	768	154	801	160	871	174
400mL献血		19,902	7,961	19,834	7,934	19,324	7,730	18,880	7,552
成分	血しょう	8,683	5,132	7,882	4,691	7,908	4,752	7,855	4,413
	血小板								
計		29,353	13,246	28,484	12,778	28,033	12,642	27,606	12,139

福井県における献血者数

採血区分別献血者数(人)

	200mL	400mL	成分	計
令和2年度 (構成比)	793 (2.7%)	19,412 (66.7%)	8,907 (30.6%)	29,112
令和3年度 (構成比)	768 (2.6%)	19,902 (67.8%)	8,683 (29.6%)	29,353
令和4年度 (構成比)	768 (2.7%)	19,834 (69.6%)	7,882 (27.7%)	28,484
令和5年度 (構成比)	801 (2.9%)	19,324 (68.9%)	7,908 (28.2%)	28,033
令和6年度 1月末現在(構成比)	783 (3.4%)	15,674 (68.0%)	6,600 (28.6%)	23,057

年齢階級別献血者数(人)

	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳
令和2年度 (構成比)	926 (3.2%)	3,413 (11.7%)	4,575 (15.7%)	7,444 (25.6%)	8,768 (30.1%)	3,986 (13.7%)
令和3年度 (構成比)	935 (3.2%)	3,454 (11.8%)	4,433 (15.1%)	7,206 (24.5%)	8,936 (30.4%)	4,389 (15.0%)
令和4年度 (構成比)	938 (3.3%)	3,269 (11.5%)	4,174 (14.7%)	6,827 (24.0%)	8,755 (30.7%)	4,521 (15.9%)
令和5年度 (構成比)	988 (3.5%)	3,260 (11.6%)	4,018 (14.3%)	6,346 (22.6%)	8,836 (31.5%)	4,585 (16.4%)
令和6年度 1月末現在(構成比)	904 (3.9%)	2,775 (12.0%)	3,138 (13.6%)	5,050 (21.9%)	7,197 (31.2%)	3,993 (17.3%)

福井県における献血者数

職業別献血者数(人)

	公務員	会社員	高校生	その他学生	その他
令和2年度 (構成比)	4,335 (14.9%)	18,638 (64.0%)	594 (2.0%)	727 (2.5%)	4,818 (16.5%)
令和3年度 (構成比)	4,296 (14.6%)	18,956 (64.6%)	593 (2.0%)	771 (2.6%)	4,737 (16.1%)
令和4年度 (構成比)	3,955 (13.9%)	18,738 (65.8%)	589 (2.1%)	748 (2.6%)	4,454 (15.6%)
令和5年度 (構成比)	3,775 (13.5%)	18,464 (65.9%)	630 (2.2%)	857 (3.1%)	4,307 (15.4%)
令和6年度 1月末現在(構成比)	3,469 (15.0%)	14,650 (63.5%)	540 (2.3%)	917 (4.0%)	3,481 (15.1%)